

広島協
NEWS

2018年1月 3号(通巻70号)

広島県室内装飾事業協同組合

〒733-0003

広島市西区三篠町1丁目7番4号

TEL 082-239-9281 FAX 082-239-9282

URL <http://hirosokyo.jp>

発行責任者 広報委員会委員長

小林 修

頌
春

年頭のごあいさつ



広島県室内装飾事業協同組合
理事長 竹内 剛

平成30年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

昨年も広島県室内装飾事業協同組合の事業に格別のご支援ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、私たちの上部団体であります日装連(日

本室内装飾事業協同組合連合会)の50周年記念式典が行われ、理事11名で参加して参りました。

石破衆議院議員による特別講演の後、表彰式、懇親会が開催され、大変盛況な式典でした。若山前理事長が経済産業省製造産業局長表彰を受賞されましたことを改めて報告させていただきます。

さて、既にご案内の通り「化粧フィルム工事作業」が国家資格に認定されました。今年の夏ころには、一回目の検定試験が実施される予定です。

当組合としては、広島で試験を開催できるよう働きかけております。そのために、検定台の購入、検定委員の養成、トライアルの実施等の事業を今年前半に行う予定です。正式な案内はまだ先になりますが、非常にタイトなスケジュールになることが予想されますので、皆様のご協力をお願いします。

組合では昨年より委員会を1つ増やし、総務委員会、教育情報委員会、広報委員会、事業委員会の4委員会体制で活動しております。広報委員会を設けましたのは、組合の事業をアピールすることで若者に内装業界に関心をもってもらいたいとの思いからです。いろいろな形で業界をアピールしていきたいと思います。

青年部会は昨年も活発に活動していただきました。特に工業高校での体験授業や「ひろしま技能フェアものづくりフェスタ」では多くの高校生に興味をもってもらいました。組合員の皆様にもゼ

ひ青年部会の活動を一度見学いただければと思います。

天皇陛下が2019年4月30日に退位なさることが正式に決定いたしました。平成もあと1年4か月です。次の元号はまだわかりませんが、新しい時代に取り残されないように組合も変革を続けていきますので、皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



謹賀新年

本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます

平成30年 元旦



【事務局】			【役員】													
事務局員	事務局員	事務局員	理事	副理事	副理事	専務理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
元原優子	丸山真知子	藤本浩之	古道博彦	村井研一	梅本好一	茂山和信	吉岡猛	平裕一	椋田裕士	古川健二	後藤伸次	木佐貫良彦	小林修	南利信	若山柁夫	濱本宏和
			(株)インテリア・ダック	(株)ムライ	(株)シンコー広島	(株)中山装飾	(有)スペース・デコ	(株)堀田クロス	(株)ムクダ	(株)建装	(有)タマルヤ室内装飾	(有)ウッドライン	(株)池田ハルク	(有)ミナミ装飾	(現代インテリア(株))	(有)インテリアケンソウ

表彰を受けられました

若山征夫前理事長は、竹内理事長の年始のごあいさつでも紹介が有りましたが、昨年10月4日に開催された日装連創立50周年式典に於いて、広島組合役員、中国ブロック会会長、また日装連理事の長年にわたる功績を称えられて「経済産業省製造産業局長表彰」を受けられました。

木佐貫良彦理事は去る11月8・9日に開催された第34回ひろしま技能フェア（ひろしまものづくりフェスタ2017）に於いて、広島県職業能力開発協会より長年の技能検定推進の尽力により「技能検定功労者表彰」を受けられました。また倉迫賢玄教育情報委員も2月に開催の第29回技能グランプリでの「壁装職種銅賞」について表彰をうけられました。



経済産業省製造産業局長表彰 若山征夫 前理事長



技能検定功労者表彰
木佐貫良彦



壁装職種銅賞 倉迫賢玄

春夏秋冬

新 春夏秋冬2018 ーひとりごとー

組合・理事 平 裕 一

開催まであと2年と迫った東京オリンピック、社会には明るいムードが生まれ、競技施設の建設や関連するインフラ整備等で、建設業界は特需に沸いている。一方で、中長期的には少子高齢化などの影響で市場規模は減少傾向に、市場の将来的な減少に加え、技能者の高齢化や、若手人材の不足、後継者問題など様々な課題を抱え先行きの不透明感もぬぐいきれません。

昨年10月に開催された日装連創立50周年記念講演で講師を務めた石破茂衆議院議員も少子高齢化による日本の将来の問題点を鋭く指摘され、その解決策としての地方創生の在り方、さらに地方創生において不可欠な住宅市場の活性化、特に中古住宅流通の活性化の必要性を説かれ、その住宅市場の活性化において内装・インテリアという内装仕上工事業者の重要性を強調されました。

世の中にある様々な業界と同じく、インテリア業界にも対処すべく現状と課題が浮き彫りになってきており、問題解決へ向けた変化と進化が求められています。企業ではこれまでの「技術力の強化」「経営効率の向上」に加え「給料・休日など、業界担い手の処遇改善」、団体及び地域ぐるみでは「地域の建設業関係団体が中心となって若者入職者の教育訓練を実施」など試行錯誤を繰り返し個々の企業のみならず行政、各種団体、地域で連携し過去にとらわれず、新しい運営の方法を早急に実践する対策が必要とされています。

インテリア業界の未来と発展へ向けての役割を我々組合も共に担い、与えられた立場、果たすべく責任に向き合う組合員が一人でも多く集えば、業界の課題は少しずつ解決することができるのではないのでしょうか。そうした着実な積み重ねがあつてこそ、将来の確かな成果がもたらされるものと考えます。

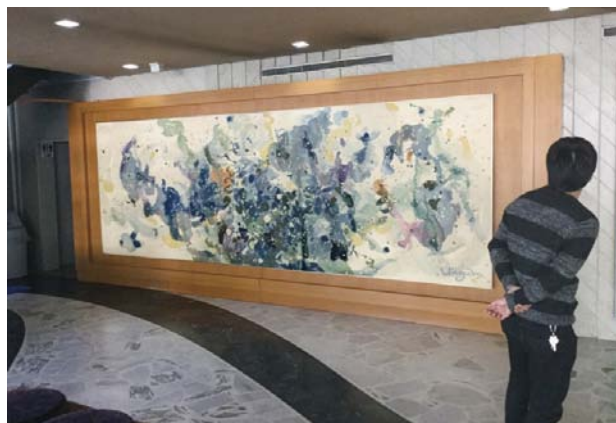
2017秋京都 組合研修旅行記

(有)マキタエンタープライズ 横田 幸一郎

まさに！我々内装業の源を見学した！と感じたのは私だけでしょうか？昨年10月27日（金）・28日（土）と組合研修旅行に参加しました。

今回のメインは川島織物本社 京都工場の見学でした。明治早々にヨーロッパ視察をし、西洋の内装、つまりはテキスタイルで内壁を覆うという現在の内装を始めた川島織物の工場見学は、まさに歴史伝統の旅でした。織り方の工夫により、織物を絵画のような伝統の域まで高めたタペストリーや緞帳など唯一無二の技術またそれを継承されてる様は素晴らしいと感じました。今の技術でやっとインクジェットプリントが真似のようなことができているのかな？程度でしょうか？

手織り工場、機械織り工場と大きく2つに分かれた工場でしたが、手織り工場の方では、横幅



25mにも及ぶ 織り機の前に職人さんたちが横一列6～7人が並び緞帳を1列づつデザインに合わせて織り上げていっておられました。単独でなく複数の職人 親方 手伝いの人などによる総合芸術を目の当たりにいたしました。内装とはここまで芸術性に傾くことができるのかということを知って、改めて感慨深かったです。また、機械織り工場の方では、糸の染めから始まり コンピューター制御での複雑なデザイン織りのカーテン製作まで、一貫製造の工場を見学させていただきました。自社で 白い糸を購入し、染めのために一旦巻き直してから染めるなど、最終仕上げのために一つの工程をきっちりやりきり、整理整頓をしている様は素晴らしかったです。コストや需要、いろいろ考えることはありますが、こだわりの内装の先に川島織物という形が100年前から存在しているということを、改めて確認し現在の自社の仕

事を振り返ってせめて「きっちりとしたコダワリの仕事をする」という精神性だけでも模倣したいと感じました。

2日目はゴルフ組、観光組と分かれそれぞれに晩秋の京都を満喫いたしました。観光組だった私は、西本願寺での襖絵 能舞台 などなど普段はお目にかかれない宝物を目にすることができ、これまた今度は日本の内装総合芸術を堪能でき、さすが京都と唸ってしまいました。口が開きっぱなしの2日間でしたが、大変よい勉強になりました。



講習会開催

有機溶剤主任技術者講習会開催

昨年11月18日（土）、19（日）の二日間、（公財）広島県労働基準協会の協力を得て、講習会を開催し16名の方が受講され、全ての方が修了試験にも合格され有資格者となりました。

Jw-CAD（初級編）講習会開催

昨年12月9日（土）、16（土）の二日間、ポリテクセンター広島の協力を得て、講習会を開催し10名の方が受講されました。



組合親睦ボーリング大会

（株）池田ハルク 平野 崇

昨年11月22日（水）に毎年恒例となった親睦ボーリング大会が東部地区、西部地区で開催されました。

東部地区は18名の参加、西部地区は49名の参加です。毎年この時期、皆様大変お忙しい中参加して頂いており、年々盛り上がりも増しております。今年も老いも若きも男子も女子もガチンコ勝負で優勝目指して楽しみました。2ゲームトータルで決まる為、2ゲーム間での浮き沈みが垣間見え、見ていて大変面白かったです。

ボーリング終了後の懇親会では西部地区では各事業所から総勢52名の皆様に参加して頂き、普段中々膝を突き合わせて話すことのない者同士、垣

根を越え、ざっくばらんにお酒を酌み交わす様はこれぞ正に懇親会、と言った感じで皆様大いに楽しんでおられました。毎回この事業を開催するにご尽力いただいている南総務委員長初め、関係各位に感謝申し上げるとともに次世代に当たる我々も今後こういった機会が増やせるよう精一杯努力して参りたいと思います。



青年部会活動

体験授業レポート 総合技術高校

(有)TMプランニング 松村大地

昨年の10月19日（木）、26日（木）に一昨年に引き続き、組合活動の一環である「高校体験授業」が県立総合技術高校で実施されました。クロス貼り体験は昨年と同様に行われましたが、座学授業ではものづくり体験を実施いたしました。

まずは青山副部長より、私たちが普段どのような仕事をしているか、どんなものを取り扱っているかなど、資料を基に生徒の皆さんに知って頂きました。普段はあまり気にする事のない壁紙ですが、これを機会にもっと身近に感じて欲しいというコンセプトから「壁紙でつくるファイル」を生徒の皆さんに作って頂く事にしました。大きさはA4の紙が入る程で、本のように開き、マジックテープが付いた止め具で閉じることが出来る仕組みになっています。台紙となる厚紙を決められた寸法にカットし、表面となる側に壁紙を貼り付け、ファイリング出来るようにするためのクリアファイルを取り付けるという手順です。生徒の皆さんは、ハサミやカッターナイフを使って一生懸命に取り組んで下さいました。また、早くファイルを作り終えた生徒さんは、まわりの生徒さん達の所へ行き、アドバイスをしたり手伝ったりする場面を見る事が出来ました。

クロス貼り体験は、校舎のエントランスに練習台を5台設置し、実際にクロス貼りの作業の流れを体験してもらう取り組みです。吉岡部長に糊



や機械、道具の使い方などの説明をしてもらい、数人に糊付け作業、全員にクロス貼りを体験してもらいました。専門の道具を使う事、ましてやる事さえ珍しい事ですので、皆さん戸惑いの表情を浮かべながらも熱心に取り組んで下さいました。

普段から身の回りに存在する内装材、それをお客様に提供する職業がどんなものなのか、ということを経験を通して生徒の皆さんに知って頂けた事と思います。これを機に、一人でも多くの生徒さんが、この業界に興味を抱いてくれると幸いです。

日装連中国ブロック会青年部意見交換会へ参加して

(株)インテリアヒロ 佐々木 健

昨年10月28日（土）吉岡部会長、青山副部会長、私の3名で山口県周南市の東横イン徳山で行われた中国ブロック会青年部意見交換会に参加させていただきました。参加人数は私達を含め14名です。

はじめに講師の和田健資氏による効果的な次世代リーダーの育成についての講演会が1時間ありました。講師の方は旅館を経営されているようで、自身の体験談をふまえた講演は、業種は違いますが共感出来る部分が多く大変参考になりました。また、いろいろな活動をされているようで肩書きの数が20以上はあるそうです。時間がとても足りないように思いますが、それでもそれだけの活動をされてる行動力にとっても感銘を受けました。

次にグループディスカッションです。メインテーマとしては内装業界の『地位向上、賃金アップ、遣り甲斐』『女性従業員、外国人実習生、労働環境改善、カッコイイ仕事』についてA.B.Cグループに分かれて話し合った結果は、アピール不足（カッコイイ仕事、憧れる仕事か？）、人材不



足⇒休日、勤務時間の改善（休日が少ない、残業が多い）、仕事の内容 技術によって単価を変える（業界での統一基準が出来ればいい）、単価アップ、賃金アップ、夜間作業が多いなどの色々な意見があがりました。

どれもすぐに解決出来るような内容ではないと思いますが、仕事と青年部での活動していく中で参考に出来ればいいかなと思います。青年部での活動の中でこういう会に参加させていただく機会が増えましたが、いい話や、意見を聞いて終わるのでは無く、少しでも自身の仕事・活動に活かせるように努力していこうと思います。

第2回日装連近畿ブロック青年部・次世代フォーラムへ参加して

青年部会 部会長 吉岡 猛

ジャパンテックスで次世代フォーラムを開催してから、近畿ブロックは元気です。昨年11月1日（水）に今回で2回目となる近畿ブロック次世代フォーラムに参加してきました。これは、日装連とは別で近畿ブロック独自で開催しているものです。ですから、開催場所も大阪の吹田市の「パナソニックリゾート大阪」なので我々にとっても参加しやすい場所でした。今回広島組合からは、私含めて理事5名と一般参加2名の計7名で参加してきました。約70名程度参加者がいて、遠くは埼玉・福井県からも来られていました。

今回のテーマは、「内装業の価値観を変える」～下請業の意識革命～です。

フォーラムの形式は今まで通りで、パネリスト4名とのパネルディスカッション、その後5名程度のグループでのグループディスカッションを行いました。

私の班は、内装工事店1名・問屋卸店1名・職人1名、計4名のグループでした。テーマに対する結論は、「下請業がダメと言う訳ではなく、意識を変えてエンジニアとしての自信と自覚を持つ。地域の要望によっては、元請け仕事が増えつ

つある会社もある。地域の形態・状況に合わせて柔軟に対応していくことが大事である。」です。また、メンバーにいた問屋卸店の方は近畿地区に7つの支店を持ち床職社員50名抱え、仕事の増減に合わせて派遣する体制を取っているそうです。施工力を武器に頑張っておられます。羨ましいです。

自社の強みを見つけ（または作り）、その強みを生かしていくことが生き残る道となるのではないのでしょうか。近い将来、人口減・少子高齢化などの問題で仕事量は激減すると言われています。そんな中でも、人手は確保していかなければなり

ません。本当に頭が痛いです。

今のうちに頭を抱え大いに悩みましょう。“三人寄れば文殊の知恵”と言います。同じ悩みを持ち、同じ苦しみを持つ者同士、膝を突き合わせ議論を重ね、酒を酌み交わす……決して無駄ではないと思いますよ。

私個人の意見ですが、全国大会というものには興味がありません。しかし広島が活性化するためにも、こういった交流の場は必要だと考えています。地域が変われば遣り方が違う、人間性も違う。多種多様の考え方に触れることで、明日へのヒントが見つかるのではないのでしょうか。



ひろしま技能フェア・ひろしまものづくりフェスタ2017へ初めて参加して

青山装飾(株) 青山和之

昨年11月8日（水）・9日（木）に県立広島産業会館西展示館において、広島県職業能力開発協会主催の「第34回ひろしま技能フェア・ひろしまものづくりフェスタ2017」へ参加してきました。

青年部会から16名が組合を代表して業界のアピールと若年層の取り組みを目的として参加しました。

この催しは県内のいろいろな技を子供たちに見て・触って・体験してもらうイベントで、小・中・

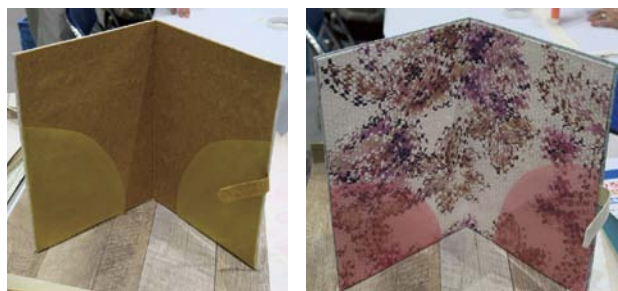
高校生合わせて約5000人程度の学生と保護者・教員の方々が毎年来場されています。

私たちは内装仕上専門工事業者として「お部屋の壁紙でオリジナルファイル」を作製していただくコーナーを準備し「ものづくり」の楽しさを体験していただきました。このオリジナルファイルは背表紙と内側を好きな壁紙を選んでもらいA4サイズ書類を入れられるものです。これが全て手作りなのですが、一般の方々が作られても全く手作り感が無いほどすばらしい品質に仕上がって、大人から学生まで大盛況となりました。



当初の予定では2日間で100名来場目標を計画しておりましたが、なんと初日に100名来場していただき、私たちスタッフはトイレも昼食も取れないほど大忙しでした。さらにファイル材料も在庫切れになってしまい、追加で100名分用意するという想定外となりました。最終的に2日間で約180名の方々にファイル作りを体験していただきました。私たちの業界は他の業界と比べても決して衰退産業ではないと感じました。

その他ステージではフラワーアレンジメントの



実演や印章彫刻の実演、広島県板金工業組合では銅版で昆虫を製作実演、西洋料理の職人がフルーツカービングや野菜カッティングの実演などいろいろな業種の技が披露されていました。

他にも自動車関係や仏壇組合、和裁専門学校、県内の高等技術専門学校など建築業界以外の業種も一堂に集まり、どこのブースも学生や子供を持つ親御さんに一生懸命それぞれの仕事・技をPRされていました。

現在、どの業界も人不足、若者不足で労働者は年々減少の一途となっていますので、さまざまな方法を使って各業界アピール、若者の取り込みを行っています。私たちももっといろいろな場所に出てこの仕事の素晴らしさ・楽しさをもっと知っ



ていただく活動をしていかなければ、他の業界に「人財」が取られてしまいます。私たちの「技」は宝ものだと思います、その「技」を身につけるには何年も時間がかかります。すぐにでもこの仕事の素晴らしさ・楽しさを伝える行動を興すとともに、学生との交流を深める必要があると考えさせられたイベントでした。



福山工業高校 体験授業レポート

MA-DO(株) 池田 なおみ

昨年の11月10日と24日に、私たち青年部は福山工業高校にて壁装とインテリアコーディネート授業を行いました。授業を行うのは高校2年生。高校2年生といえば、人生で初めて自分自身の将来を決めないとイケない。という岐路に立たされている学年ではないかと思われます。

私たちが希望と不安の混じった高校生に何を教えられることができるのか、当日は2チームに分かれ、壁装実技、コーディネートボード作成・プレゼンの授業を行いました。

私はインテリアコーディネート担当で杉原さん(池田ハルク・インテリアコーディネーター)の補佐です。授業内容は1限目『講師によるインテ

リアコーディネーター業務の説明』2時限目『プレゼンボード作成ワーク』3時限目『プレゼン発表』です。2LDKマンションの平面図を基に各部屋クロスとカーテンのコーディネートを行いま



す。コーディネートの授業といっても、ただプレゼンボードを作るのではなく、『仕事』とは！を伝えたく、時間内に作業を終わらすのは納期を守ること、キレイに仕上げるのはレベルの高い仕事をする、プレゼンで表現するのはお客様に理解していただくこと、コンセプトを明確にするのはアイデンティティを発揮すること。そして初めて仕事がもらえ対価に代わるのだ。ということを一貫して3時間の授業の中で意識しながら行ってもらうようにしました。

授業を通じて感じたことは、現役高校生はまだまだ無垢で、そして感度がよいということです。こちらの意図をしっかりとくみ取り、全部を言わな



くても理解し、作業を進めていく。そして、自分の意見・意思をプレゼンという枠の中で創造し、それを伝える語彙をしっかりと持ってたということです。私たち内装の職場環境は表現能力が稚拙でも成り立つ環境がまだまだあるかもしれません。そこに気づかない大人も多いことでしょう。授業を行ったのはキャリアのある大人ですが彼らから学ばされたのは私たちではないのでしょうか。これからの社会を牽引していく17才たちにリスペクトした1日でした。



卸街まつり2017

青年部会 部会長 吉岡 猛

本日も晴天なり

昨年悪天候とは、打って変わり今回は絶好の販売日和です。

12月2日(土)、3日(日)両日、広島総合卸センターで開催された、昨年までの「A・G・T祭」改め「卸街まつり」に出店しました。皆様からご提供頂いた、タイルカーペットにカーテンの端切れ、そして、カーペットとCFシートのマットを店頭並べ、いざ勝負！と思って準備していたら、オープン30分前にお客様がぞろぞろ……。レイアウトする間もなく、お客様対応に終われ気が付けば大盛況でした。二日間の卸街祭は、あっという間に終わり。売り上げは、二日間通して約45万円。



昨年を越えました！皆様のご協力と頑張りに感謝です。

この売り上げは、青年部会の活動をより活発にするために、有意義に使わせて頂きます。この業界の10年後の未来のために……。



～ 事務局からのお知らせ ～

- ・ 前回H29・10月号の新会員紹介欄でINTERIOR ART TONBO 代表者 塗本恭兵様のお名前を恭平様と表記していました。お詫びして訂正させていただきます。

- ・ 次回広装協NEWSは7月中旬発刊となります

・ 平成30年度通常総会のご案内

平成30年5月25日（金）

通常総会 15：00～17：00

懇親会 17：30～19：30

リーガロイヤルホテル広島

広島市中区基町6-78

新会員の紹介

★正組合員

- ・ (株)レベル 代表者 森 澤 昇
広島市西区中広町2-5-25メゾンタツミ1F

- ・ INTERIOR M's 合同会社
代表社員 酒 井 正 史
安芸高田市吉田町吉田196-109

★准組合員

- ・ ちはらや工房 代表者 千 田 隆 二
廿日市市廿日市2-7-31

- ・ インテリアせおう 代表者 世 應 文 昭
広島市中区舟入南1-4-57-401

編 集 後 記

発行責任者 広報委員会委員長 小 林 修

いよいよ、新しい年がスタートしました。今年は戌年ですが、犬は社会性があり忠実な動物です。我々も驕ることなく、仕事に忠実でありたいものです。

これからの季節は、寒さもますます厳しくなると同時に、内装仕上の業界も一年で一番多忙な時期を迎えます。現場での作業は工期に追われて辛い日々ですが、安全面に十分な注意を払い、事故なく安全な作業を心がけてほしいと思います。会社も社員も健康かつ安全が一番です。

本年も、内容の充実した紙面にすべく、努力して参りますのでよろしくお願いいたします。